

令和4年度の学力分析で明らかになった自校の課題	1.与えられた情報から必要な情報を読み取る力 2.専門用語や難語句が多い文章から、必要な情報を読み取り、自分の言葉に変えて表現する力 3.課題解決に必要な条件を読み取り、条件にあった資料を作成する力
自校の課題解決に向けた授業 学校全体で目指す授業	1.授業者の問いの見直し 2.生徒自身が問いに対して自ら考え、説明するために資料を作れるような活動を行っていく

取組の観点			組織的な取組に向けた方策 「誰が」「何を」を明確にする
検証改善サイクル ○検証方法と□改善方法	校内研修・授業改善 学習内容の確実な定着に向けた 授業改善の方策		
4～7月	○全国学力テストや学力の伸び調査や定期テストなど各調査に向けて授業改善を行う。 □昨年度の調査結果や教員の授業の結果をもとに今年度重点的に取り組む単元を決める。	・昨年度の課題から与えられた情報から必要な情報を読み取り、説明する力をつける。 (例)グラフの読み取り問題や、資料から予想できることを説明する問題など	・年間を通して研究主任が授業改善に向けた取組を行っていく。その際教員間の交流を大切にするとともに、教員の困り感を全体で取り組んでいけるようにしていく。 ・教務主任や研究主任がテストや調査の結果を教科の先生方に早めに返却し、教科で課題となっている部分についてどんな取組(授業)を行っていけばよいか交流する時間を取る。 ・教員が今年度、重点的に取り組む単元を決め、授業改善に取り組む。 ・教員が年間を通して授業の見直しを行うとともに調査において課題がある点の復習を行う。
8～9月	□各調査の結果をもとに各教科の課題を挙げ、改善するための取組を考え共有する。	・全国学力テストや学力の伸び調査の結果をもとに、現在の生徒の状況を把握するとともに、研修の中で改善策を教科や学年で話し合う。	
10～1月	□相互授業参観など教科を越えて参観をして、新しい視点で問いの作り方や授業の進め方など再考する。	・同教科だけではなく他教科の先生の授業を参観することにより、生徒の様子や授業の進め方の視点を得る。	
2～3月	□CRTテストの結果を踏まえて、来年度の学力調査に向けて現在の教科の課題を挙げ、復習等行っていく。	・来年度に向けて1年間のふりかえりを行う。授業者目線・生徒目線で授業改善に取り組む。 ・苦手としている単元の授業のやり方について再考する。	

【総括的な指標】 一人ひとりが、全国水準の学力を身に付ける

令和6年度 全国学力・学習状況調査において、教科の正答率が、全国平均を超えることを目標にする